



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）遠藤 大輔
 問合せ先責任者 （役職名）専務取締役 （氏名）清水 清作 TEL 0144-34-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,282	5.2	67	127.8	63	123.0	61	184.9
2026年3月期第1四半期	1,218	7.8	29	—	28	—	21	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 62百万円（175.1％） 2026年3月期第1四半期 22百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	17.67	—
2026年3月期第1四半期	6.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,807	386	13.8
2026年3月期	2,816	345	12.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 386百万円 2026年3月期 345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	2,531	2.8	36	△8.0	28	△9.3	20	38.6	5.76
通期	5,216	2.9	150	△6.0	142	△7.3	127	2.1	36.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,432,300株	2026年3月期	3,432,300株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	79株	2026年3月期	79株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	3,432,221株	2026年3月期1Q	3,413,221株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A 種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年 3 月期	—	—	—	20.00	20.00
2027年 3 月期	—				
2027年 3 月期（予想）		—	—	20.00	20.00

（注）2027年 3 月期の配当予想額につきましては、約定通りであります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策効果などを背景に緩やかに回復傾向が続いております。一方で、継続的な物価上昇による消費者マインドの停滞、不安定な国際情勢も継続しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料、光熱費の高止まり、人手不足等による人件費関連コストの上昇が継続しており、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて、高収益が見込める業態について慎重に検討したうえ、新規出店、改装及び新規事業への参入を進めることとしております。

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は47店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,282,041千円（前年同期比5.2%増）、営業利益67,655千円（同127.8%増）、経常利益63,175千円（同123.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益61,038千円（同184.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

a. 飲食・小売部門

当第1四半期連結累計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイズ事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は季節限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやSNS等及び定期的なメニューの投下・訴求することで、リピート顧客の獲得に努めてまいりました。

また、当社グループの主力業態であります「ミスタードーナツ業態」では本部施策が好調に推移した結果、飲食・小売部門の売上高・営業利益を大きく拡大させております。

飲食・小売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,163,356千円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益77,598千円（同87.7%増）となりました。

b. 製造・卸売部門

当第1四半期連結累計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は65,658千円（前年同期比14.5%減）、セグメント損失2,342千円（前年同期はセグメント利益1,923千円）となりました。

c. 農畜産部門

当第1四半期連結累計期間における農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めた結果、前第1四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

農畜産部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は53,026千円（前年同期比2.6%増）、セグメント損失3,801千円（前年同期はセグメント損失9,761千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は730,127千円となり、前連結会計年度末に比べ1,859千円増加いたしました。これは主に売掛金が21,364千円減少したものの、現金及び預金が16,008千円、商品及び製品が5,073千円、原材料及び貯蔵品が5,068千円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,077,291千円となり、前連結会計年度末に比べ10,607千円減少いたしました。これは主にのれんが3,798千円、敷金及び保証金が9,163千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,807,418千円となり、前連結会計年度末に比べ8,747千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は806,171千円となり、前連結会計年度末に比べ27,218千円減少いたしました。これは主に未払金が21,986千円増加したものの、買掛金が41,323千円、1年内返済予定の長期借入金が16,268千円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,615,056千円となり、前連結会計年度末に比べ21,720千円減少いたしました。これは主に長期借入金が19,483千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,421,227千円となり、前連結会計年度末に比べ48,939千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は386,190千円となり、前連結会計年度末に比べ40,191千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当12,096千円、A種優先株式の消却10,000千円を行ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益61,038千円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は13.8%となり、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間については、前年同期と比較して売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも順調に推移しておりますが、原材料、光熱費、人手不足等による人件費関連コストの上昇が継続する場合は、当社グループの業績に影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通し等の未確定な要素があるものの、各種コストの削減等を継続してまいります。

連結業績予想については、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業利益67,655千円、経常利益63,175千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,038千円を計上している一方で、有利子負債が1,983,412千円と負債純資産合計の70.6%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続的に受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定メニューの投下やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやSNS等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコストの削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、一部の取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしておりますが、今後もすべての取引金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと認識しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	328,479	344,488
売掛金	179,144	157,780
商品及び製品	33,047	38,120
仕掛品	10,133	10,213
原材料及び貯蔵品	79,214	84,282
その他	98,249	95,241
流動資産合計	728,268	730,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	804,810	799,235
機械装置及び運搬具（純額）	8,668	7,628
土地	428,721	428,721
建設仮勘定	673	13,402
その他（純額）	144,350	139,445
有形固定資産合計	1,387,223	1,388,432
無形固定資産		
のれん	30,385	26,587
借地権	140,000	140,000
その他	8,101	7,779
無形固定資産合計	178,486	174,367
投資その他の資産		
投資有価証券	65,948	69,450
敷金及び保証金	400,537	391,373
繰延税金資産	35,345	33,422
その他	62,457	62,345
貸倒引当金	△42,100	△42,100
投資その他の資産合計	522,188	514,490
固定資産合計	2,087,898	2,077,291
資産合計	2,816,166	2,807,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,242	77,918
短期借入金	※ 309,316	※ 304,450
1年内返済予定の長期借入金	157,446	141,178
リース債務	8,092	8,092
未払金	150,279	172,266
未払法人税等	4,899	1,221
その他	84,113	101,043
流動負債合計	833,390	806,171
固定負債		
長期借入金	1,523,891	1,504,407
リース債務	23,917	22,608
資産除去債務	16,357	16,415
その他	72,609	71,624
固定負債合計	1,636,776	1,615,056
負債合計	2,470,167	2,421,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	73,622	73,622
資本剰余金	162,259	152,259
利益剰余金	95,287	144,228
自己株式	△53	△53
株主資本合計	331,115	370,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,813	16,063
その他の包括利益累計額合計	14,813	16,063
非支配株主持分	70	70
純資産合計	345,999	386,190
負債純資産合計	2,816,166	2,807,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,218,164	1,282,041
売上原価	492,219	498,117
売上総利益	725,945	783,923
販売費及び一般管理費	696,242	716,267
営業利益	29,702	67,655
営業外収益		
受取利息	30	19
受取配当金	297	256
不動産賃貸料	36,218	34,961
その他	2,123	2,549
営業外収益合計	38,669	37,787
営業外費用		
支払利息	11,639	13,399
不動産賃貸原価	28,050	27,268
その他	348	1,599
営業外費用合計	40,038	42,267
経常利益	28,334	63,175
特別損失		
固定資産除却損	1,662	877
店舗閉鎖損失	1,123	—
特別損失合計	2,785	877
税金等調整前四半期純利益	25,548	62,298
法人税、住民税及び事業税	4,124	1,260
法人税等合計	4,124	1,260
四半期純利益	21,423	61,038
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,423	61,038

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	21,423	61,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,215	1,249
その他の包括利益合計	1,215	1,249
四半期包括利益	22,638	62,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,638	62,288
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社及び連結子会社においては、成長投資等に向けた機動的な資金調達を目的として、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	100,000	100,000
差引額	—	—

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
外部顧客への売上高	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,089,699	76,773	51,690	1,218,164	—	1,218,164
セグメント利益又は損失(△)	41,338	1,923	△9,761	33,500	△3,798	29,702

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日至2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,163,356	65,658	53,026	1,282,041	—	1,282,041
外部顧客への売上高	1,163,356	65,658	53,026	1,282,041	—	1,282,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,163,356	65,658	53,026	1,282,041	—	1,282,041
セグメント利益又は損失(△)	77,598	△2,342	△3,801	71,453	△3,798	67,655

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	33,079千円	32,623千円
のれんの償却額	3,798	3,798